

## 2022年香港でのオミクロン株 BA.2 の流行

香港では2022年に入ってから COVID-19 の感染拡大が止まらない。その大きな要因はオミクロン株 BA.2 の流行である。これまでの情報を速報としてまとめた。

2022年2月23日 吉川淳子（南京中医薬大学）

### 1. 香港での流行の経緯と現状

香港（人口748万人）では2021年12月末から COVID-19 流行第5波が始まった。今回の感染者総数は5万人余、死亡者は145人（うちワクチン接種完了者は7人）、入院待機者は3万人に達している。また873人の公立医療機関の医療従事者が感染している（2022.2.21現在）。

#### 第5波の感染源

- ① **オミクロン株 BA.1**：隔離免除されていたキャセイパシフィック航空のクルーが規則に違反して利用したレストランにいた人が感染。（この系統はすでに抑制されている）
- ② **オミクロン株 BA.2**：12月20日に香港に到着後、隔離ホテルに滞在していた43歳のパキスタン系女性が1月10日に隔離期間を満了して住所地に戻ったあと、1月16日にPCR検査で陽性となった。ウイルスは隔離ホテルの隣の部屋の71歳ネパール系男性からエアロゾル感染したと考えられている。（現在の大流行を引き起こした主なウイルス）
- ③ **デルタ株**：複数店舗で販売されていたオランダから輸入されたハムスター。

#### 特徴

- ・高齢者施設関連の感染者が多い。（300施設以上、職員230人超、入所者820人超）<sup>1</sup>
- ・11歳以下の確定症例が200例と小児の症例が多く、3名の死亡者が出ている。（3歳女兒、4歳男児、生後11か月の女兒。乳児は症状出現後1日で死亡）

### 2. 小児死亡例について

---

<sup>1</sup> [香港、新型コロナ新規感染確認数 6211 人…初歩陽性者との合計では 1 万 5850 人に = 2/22（マカオ新聞） - Yahoo! ニュース](#)

### 香港大学 劉宇隆教授（小児と青少年科学）のコメント<sup>2</sup>

- ・本土から来た専門家が 3 例の小児死亡症例の分析の結果、全例で水頭症、急性脳炎、上気道感染などがみられた。
- ・3 例とも新型コロナウイルスワクチンを接種していない。
- ・先天的な免疫不全である可能性がある。
- ・新型コロナウイルスは肺だけでなく多くの器官に影響する。

### 香港 Princess Margaret Hospital 関日華顧問（小児感染症科）のコメント<sup>2</sup>

- ・香港のこれまでの COVID-19 流行ではこのような状況が出現したことはなく、今回の事態はきわめて異常。
- ・調査チームを立ち上げてこれらの小児の既往歴や自己免疫などについての情報を収集し、死亡原因を探る必要がある。

## 3. オミクロン株 BA.2 の流行

### 香港大学 朱華農副教授（公衆衛生学）の見解<sup>3</sup>

変異ウイルス	香港第 5 波での特徴
オミクロン株 BA.1	感染や伝播が速い。 相対的にマイルド。 小児への感染性は他の変位株よりかなり強い。 感染者数が非常に多くなるため、重症者や死亡者が増加する。
オミクロン株 BA.2	感染力は BA.1 より 30%以上強い。 香港で流行している間にさらに変異している。 デルタ株や BA.1 に対する方法では対応できない。
デルタ株	感染力はオミクロン株より弱い。 毒性と発症リスクはオミクロン株より高い。 感染源のハムスターを早期に処理できたため、症例は少ない。

<sup>2</sup> 『香港 3 名幼児感染新冠死亡 福利机构推专项津贴』 海外網

<https://baijiahao.baidu.com/s?id=1725453824701452207&wfr=spider&for=pc>

<sup>3</sup> 香港新聞網 2022.2.22 <http://www.hkcna.hk/h5/docDetail.jsp?id=100058970&channel=2803>

- ・香港では BA.1 の侵入はこれまで何度も抑制してきたが、BA.2 はコントロール不能になっている。
- ・現在 BA.2 とデルタ株が共存し、同時流行、同時感染している状態であり、大変憂慮している。
- ・この 2 つのウイルスは性質の違いが大きいため、防疫がむずかしい。
- ・その理由：現在の香港では検査がひっ迫し、ウイルスゲノム解析が追いついていない。
- ・現在感染拡大はなお上り坂の状態。抑制できない場合は多くの感染者の体内で組み換えが起こる危険性があり、状況がさらに悪化する。

## 参考 HKUMed updates on modelling the fifth wave of COVID-19 in Hong Kong

[HKUMed updates on modelling the fifth wave of COVID-19 in Hong Kong - News | HKUMed](#)

- ・香港大学 HP。最新資料がダウンロードできる（英文）。

Modelling HK's fifth wave of Omicron BA.2 [Download Presentation Slides](#)

Update report dated February 21, 2022 [Download Complete Report \(Updated on 21 Feb 2022\)](#)

## 4. 鍾南山院士が香港市民へ呼びかけ<sup>4</sup>

- ・鍾南山中国工程院院士は 1936 年生まれ。武漢での COVID-19 流行を終息させた功労者として共和国勲章を授与された呼吸器疾患専門家。13 年前の SARS 流行の際は、何度も香港に行き対応にあたった。
- ・2 月 21 日、映像を通じて広東語で香港市民に呼びかけた。

## 生命こそが最高の人権

- ・政治的差異はあれ、人類とウイルスとの闘いの中で最も大切な人権は、人間の生命、健康な生命である。
- ・自然感染による多数の高齢者の死亡を容認することはできない。

## 防疫上の 3 つの提案

### (1) 核心は伝播の予防

- ① 個人防護を行ない、社会的接触を減らして、自分が感染しないようにする。
- ② 濃厚接触者になった人は時間をきめて簡易検査（抗原検査）の回数を増やし、陽性となった場合はただちに医療部門に連絡する。

---

<sup>4</sup> 『针对香港疫情，钟南山最新发声』 2022.2.22 中国基金报 <https://new.qq.com/omn/20220222/20220222A04KTT00.html>

③今一番大切なのは、患者と健康な人を分離すること。感染が確定した人が家にいるのはよくない。隔離しないといけない。

・香港では現状では難しいのかもしれないが、中央政府と特区は竹篙湾、啓徳碼頭などに臨時病院を急いで建設しているし、体育館や会議展示センターなどの利用も考慮するべきだ。

・感染の連鎖を断ち切り、すみやかに流行をコントロールすることが最も大切。

④重症者をすみやかに入院させる。

・特定の病院に集中して収容するのが管理や治療の上で一番いい。

## (2) ワクチン接種

・現在香港の 60 歳以上の接種は立ち遅れている。

接種率	60-69 歳	70-79 歳	80 歳以上	香港市民全体
1 回目	83%	71%	42%	85%
2 回目	72%	56%	28%	76%

・死亡者を減らすには、香港の高齢者は必ず 3 回目まで接種すべき。

## (3) 薬物の備蓄

①アメリカの Paxlovid。

②中国本土の BR11 196-198 抗体。

(清華大学、深圳市第三人民病院、騰盛博薬が共同開発した中和抗体カクテル療法治療薬。オミクロン株 B.1.1.529 系統に対する中和活性を維持することが検証され、昨年 12 月に中国で緊急承認された)

③エビデンス医学で有効だと証明された中薬製剤。

## 5. 政府の対応<sup>5</sup>

### 2 月 22 日林鄭月娥香港特区政府行政長官記者会見

・中国本土からの支援の下、体制を拡充して感染を抑制する。

## 本土からの支援

---

<sup>5</sup> 香港特別行政区政府 HP [国家全力支援](#) [特区齐心抗疫](#)

- ・疫学専門家、重症医学専門家の派遣。
- ・PCR 検査関係：要員派遣、資材、移動検査車両、ドーム型検査室（体育館や公園に設置）の提供。
- ・簡易抗原検査パック、KN95 マスク、中薬製剤、保護具、医療用品の提供。
- ・隔離施設や治療設備の建設。
- ・生鮮食品の提供。

### **学校の休校**

- ・小中高校と幼稚園は例年 7-8 月の夏休みを 3-4 月に振り替え、各界は防疫に集中する。
- ・その間校舎は検査、隔離、ワクチン接種に利用する。

### **全員強制検査(Compulsory Universal Testing : CUT)**

- ・3月に全員強制 PCR 検査を 3 回実施する。従わない場合は法的罰則あり。
- ・PCR 検査能力を 100 万人分/日に増強する（現在は 30 万人分/日、本土の支援前は 10 万人分/日）。
- ・出生年ごとに予約し、予約した市民は 2 名の高齢者、小児と一緒に検査できる。
- ・検査実施時に次回の検査までの KN95 マスクと簡易抗原検査パックを支給し、毎日自分で簡易検査を実施する。
- ・2 月末までに各区の検査センターを数百か所ずつ増設する。

### **隔離施設の増設**

- ・2 月末までに小区（住宅マンション）の隔離施設を 12000 単位に増設、3 月末までにホテルの借り上げ、啓徳碼頭の改装などでさらに 16000 単位増設する。

### **治療施設の増設**

- ・現在公立病院（臨時病院を含む）に 3000 床余りの隔離病床、アジア国際博覧館を利用した 1000 床の社区治療施設がある。
- ・中央が落馬洲河套区に臨時病院を建設する。
- ・公立病院の受診難を解消するために、2 月末までに高齢者専門の治療施設とショートステイ施設を体育館などに設置する。

## ワクチン接種の推進

- ・接種地点の増設、接種時間の延長。

### ① 全体目標

- ・1回目接種 3月初旬までに90%を達成する。
- ・2回目接種 3月中に80%を達成する。
- ・3回目接種 すでに2回目接種から6か月以上の市民の46%（60歳以上では67%）が接種済み。
- ・専門家は2回目と3回目接種の間隔短縮に原則上同意しており、すみやかに接種して、すみやかに防護することが大切。

### ② 児童（3-11歳）の接種

- ・現在の接種率（1回目）101,000剤(19.14%)。
- ・目標接種率 4月中に90%を達成する。
- ・学童は学校が団体予約して学区のワクチン接種センターで接種、または個別に同センターで接種する。

### ③ 老人ホーム、障がい者施設での接種

- ・現在の接種率 34%
- ・目標接種率 4月中に90%を達成する。
- ・ホームや施設での接種は優先して実施する。